



上海レポート

令和3年1月号

Vol. 5



公益財団法人 大阪産業局上海代表処 (大阪府上海事務所)

中国上海市延安西路 220 | 上海国際貿易中心 408室 200336 Email osaka@ibo-sh.com.cn
TEL 86-21-6270-1901 FAX 86-21-6270-1351 http://osaka-sh.com.cn

20210104号	「中国のお正月、春節」	所長 長野眞由子
20210111号	「「非接触」ロボットを体験しました！」	副所長 前田千晶
20210118号	「昨今の中国でのコロナ対策事情」	所長 長野眞由子
20210125号	「上海に蔦屋書店の一号店がオープンしました！」	副所長 大山知宏

20210104号 「中国のお正月、春節」 所長 長野眞由子

新年、明けましておめでとうございます。

皆様はどんな新年を迎えられたでしょうか。

ここ上海では、多くの駐在員が年末になると一時帰国してしまい、日本人が多く住む地域は閑散としてしまう…という風景が通常でしたが、今年はほとんどの駐在員が中国国内での年越しとなったようです。日本も寒いお正月だったようですが、上海にも大寒波が訪れ、最高気温が零下という、経験したことのない寒さの中での年未年始となりました。

さて、日本では新暦の1月1日をお正月として祝いますが、中国では旧暦のお正月「春節」が最も大切な、伝統的な祝日となっています。2021年は2月12日(金曜日)が春節にあたり、大晦日に当たる2月11日から17日までが連休となります。

春節が近づくと、郷里に帰る人や旅行に出かける人の大移動が始まります。この大移動は「春運」と呼ばれており、今年は春運期間が1月28日～3月8日に設定されているそうです。期間中は鉄道や長距離バスの増便など、様々な対策が取られます。

海外旅行に行くことは引き続き難しい状況ですが、その分、国内消費の活況なども報じられているところです。今年の春節、人の移動はどのようになるのか、国内旅行市場はどの程度活性化するのか、春節に向けた消費の動向はどのようになるのかなどを興味深く見えています。

20210111号 「「非接触」ロボットを体験しました！」 副所長 前田千晶

先日宿泊したホテルで「非接触」でルームサービスを届けてくれるロボットが実際に運用されていました。日本でも一部のホテルではロボットがチェックイン手続きをするホテルもあり、中国特有の現象ではないですが、個人的に面白いと感じたので、少し紹介します。

中国ではロボットの活用を推進していて、空港などで掃除、消毒ロボットを見る機会は少なくありません。無人ホテルを展開している会社もあります。

今回体験したロボットによるルームサービスでは一台のロボットが複数のオーダーに対応でき、スマホでオーダー、決済してから10分程度で配達してもらえました。到着すると、客室電話に連絡が来ました。

人の手を借りることなく、配送してくれるのも面白かったのですが、自力でエレベーターを呼ぶことができる点にとっても驚きました。

今回のサービスはルームサービス限定でしたが、いわゆる「出前」のデリバリーをホテルの部屋の前まで届けることもできるようで、その点も考慮すると、ホテルのサービス提供者をロボット化するテクノロジーには 100 億元の市場があるとのことでした。勿論日本円で一台 250 万程度と高価なので、現状活用できるホテルは限られていますが、別の同様のブランドの無人配膳ロボットは既に 3000 近くのホテルで活用されているとのことでした。

このように中国にはまだまだ大きな市場が待っています。これからもビジネスに役立つような情報を発信できるよう日々リサーチしていきます。



実際に使われていたロボットです。エレベーターを自分で呼んで、エレベーターが来るのを待っています。

20210118 号「昨今の中国でのコロナ対策事情」 所長 長野真由子

ここ上海では昨年 11 月以降、新型コロナの市中感染は発生していませんが、河北省の省都石家荘市などで感染が拡大していることや、一年で最も人の移動が増える春節休暇を前にしていることなどから、感染対策の引き締めがはかられています。

当事務所が入居している上海国際貿易センタービルにおいても、今月に入ってから、ビルに入る際に、これまでも求められていたマスクの着用に加え、携帯電話のアプリを用いた健康コードの提示が求められるようになりました。

また、1 月 11 日(月)には、上海市政府よりデパートやスーパー、レストランなどの防疫対策に関するガイドラインが発出され、マスクの着用、入場時の体温測定・健康コード確認、換気や消毒などの徹底が改めて示されました。加えて 13 日(水)には、春節期間中は上海市内で過ごすことを奨励する通知も出されています。

これらを受けて当地の企業では、忘年会など大規模な宴会の自粛や、自社社員に対する上海市外への移動の自粛要請、市外移動の際の事前申告制の採用、上海に留まる従業員に対する手当の支給などの手立てを講じているようです。

中国では、2022 年北京で開催予定の冬季オリンピックまで約 1 年となったこともあり、新型コロナの徹底した封じ込めに向け、今後も感染対策が厳格化していくのではないかと考えています。

中国国内での移動などの際にはどうぞご注意ください。

去年の12月24日、大阪の枚方を発祥の地とする蔦屋書店が、上海での第一号となる店舗を上海市内にオープンさせました。

「上海上生新所(英名 コロンビアサークル)」という、約100年の歴史を持つ建築物をそのまま活用した、日本でもお馴染みの美しい空間が展開されており、開店早々、トレンドに敏感な上海人の間で話題のスポットとなっています。

「欲しくなるライフスタイル」をコンセプトに、店内では、様々なジャンルの海外書籍やアート作品も展示しており、特別装飾されたイタリア高級車の書籍は、500万円以上の販売価格にもかかわらず、すぐに売れたとか！中国の購買パワー、恐るべしです..

同店は、伝統工芸品やユニークなプロダクトを展示する売場も常設されており、大阪企業の製品も、いくつか販売されています。

バイヤーさんからは、「日本の優れた商品を、中国の人にもっと知ってもらいたい。大阪には意欲あるものづくり企業がたくさんあると聞いている。蔦屋書店をきっかけに、海外展開のチャンスを広げてもらいたい」といった、心強いお話が聴けました。

大阪府上海事務所は、中国の巨大なマーケットにチャレンジする大阪企業を積極的にサポートしております。ご相談がありましたら、いつでもお気軽に、当事務所までご連絡下さい！

